

部局名	都市整備部	所属名	公園緑地課	所属長名	柳澤 洋	電 話	483-1151 内線3230
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3348		事務事業名称	県立八千代広域公園建設事業					短縮コード	経常		臨時	3348
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	05	公園建設費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		都市計画法第63条 都市公園法 地方財政法第23条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
当事業は、昭和46年（1971年）八千代市総合計画に、「新川自然公園構想」として温められていた事業である。県立広域公園の構想は、千葉県の「緑のマスタープラン」と「花見川・新川緑と水辺のネットワーク計画」及び本市の「緑のマスタープラン」等を踏まえ、県政の長期ビジョン「2000年の千葉県」に基づく「さわやかハートちば5ヵ年計画」（平成3年3月）のなかにおいて、県立都市公園の一つとして位置づけられた。平成4年3月、千葉県がとりまとめた「八千代広域公園基本計画報告書」においては、これら上位計画を踏まえた新川沿岸の低地、崖線及び新川の水面を含め全体面積112ヘクタールを計画区域とし、このうち第1期計画区域として53.4ヘクタールに及ぶ基本計画を提案した。平成7年3月22日、53.4ヘクタールについて都市計画決定され、平成8年1月22日、事業認可された。本市は、広域公園用地の買収（県からの委託）を行い、県民・市民の憩いの場である県立八千代広域公園の整備を促進していくものである。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして						
①平成16年6月 新県立中央図書館の建設断念（定例千葉県議会） ②平成16年10月 知事と市長の懇談 合同検討会議発足の合意 ③平成16年11月 合同検討会議 合計7回 ④平成20年1月 基本計画見直し（千葉県） パブリックコメント ⑤平成20年4月 基本設計見直し 事業認可変更（H21.3.26）事業期間、事業内容の変更 ⑥平成21年4月 県・市の合意に基づき市単独事業として総合グラウンド建設事業及び市立中央図書館整備構想に着手 ⑦平成22年3月 広域公園事業地内に八千代市の総合グラウンドなどの建設に関する覚書を締結 ⑧平成23年3月 広域公園の整備に係る経費の一部について、23年度以降、県は市に負担を求めないこととなった。					大項目（節）	02	第2節公園・緑地						
					中 項 目	01	1. 公園・緑地						
					小 項 目	01	(1)都市公園の整備						
					細 項 目	03	③広域公園の整備促進						
実施計画の計画事業	5069	県立八千代広域公園建設の整備促進											
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	県民・市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 事務委託契約締結（対千葉県） 用地取得に伴う交渉 県立八千代広域公園建設委託金の請求 総合グラウンド実施設計（平成22年度繰越事業）							
	※平成24年度に計画していること： 用地取得に伴う交渉 県立八千代広域公園建設委託金の請求							
意図 （何を狙っているのか）	公園面積を確保し、公園建設に資する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	公園用地の取得総面積	m ²	151,212	186,000	151,373	186,000	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	単年度用地買収面積	m ²	1,766.98	39.49	160.81	39.49	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	用地買収進捗率	%	81.3	81.3	81.4	81.4	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3348	事務事業名称	県立八千代広域公園建設事業			所属名	公園緑地課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	15,500	11,600	11,600	0	
		一般財源	千円	6,289	2,317	2,218	1,096	
		その他	千円	0	3,919	3,919	0	
	主な事業費の内訳			用地取得等に伴う負担金 総合グラウンド実施設計	暫定利用地草刈業務委託	暫定利用地草刈業務委託	暫定利用地草刈業務委託	
人件費 (B)			千円	15,666.6	23,679.5	12,775.7	12,775.7	
トータルコスト (A) + (B)			千円	37,455.6	41,515.5	30,512.7	13,871.7	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		第4次総合計画の体系「都市公園の整備」と結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		今後も公園建設にむけて、千葉県の事業計画に合わせ用地買収を行っていく必要があるため。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		県立八千代広域公園建設は、県の施策に関わる事項である。				
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の「対象」・「意図」で成果に結びつけることができる。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		県立八千代広域公園建設は、県事業である。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法						
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)		☐ ある				
	☐ ない								

コード	3348	事務事業名称	県立八千代広域公園建設事業				所属名	公園緑地課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			県立八千代広域公園が県民・市民の憩いの場となるよう、県との綿密な連携を図り、公園整備を促進していく。また、県に協力し、引き続き公園用地の買収・交渉を行っていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			県の公園整備工事等が始まることから、広域公園の暫定利用の見直しにより、草刈り等の維持管理費は削減される。また、広域公園用地の買収・整備の促進により、市民の将来的な公園利用に寄与する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
県立八千代広域公園の村上側の整備が始まることにより、現在暫定利用地で活動しているスポーツ団体の活動の場が無くなってしまうことから、他の活動場所を提供して欲しいとの声がある。									

所属長コメント	対22年度実績の評価までは、総合グラウンド建設事業を含めた評価ということであったが、総合グラウンド建設事業が単独の評価対象となり外れた。県立公園建設事業であることから、今後は役割分担、スケジュール等の調整を密にし、事業推進に努める。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									